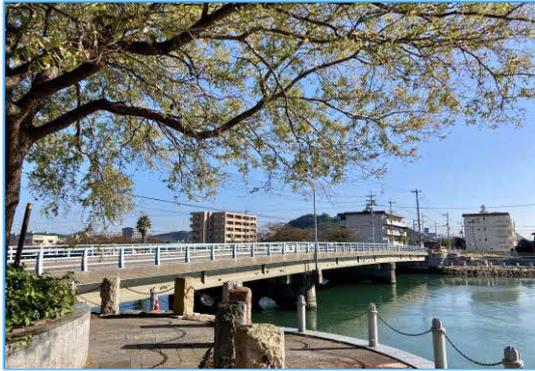


在鸣门 第173期

城見橋／城见桥



鳴門市は沿海都市であり、内海や川が多く、デザインや歴史が異なる多数の橋が架かっています。今回はその中の一つである「城見橋」をご紹介します。

城見橋は市内一級河川である撫養川に昭和41年3月に架けられた、プレストレスト・コンクリート橋です。橋全長 78m、車道 8.4m、両側の歩道が 2.3mとなっています。

橋の両側が綺麗に整備され、歩道や公園となっています。鳴門市で毎年夏に行われる花火大会の会場が橋の南側の川辺にあります。城見橋は観覧席と屋台村への重要な通路なので、橋の両側の歩道や公園は納涼しに来た人々で、橋の上は人波で賑わいます。

橋の欄干のプレートに「城見橋」という名前が刻まれています。この三文字の揮毫者は大塚製薬の創始者である大塚武三郎氏です。橋の名前は、一般市民の公募により決定され、「お城が見える橋」という意味です。そして、橋の上から見えるお城というのは「トリーデなると」のことです。

鸣门市是滨海城市，辖区内拥有众多海湾河流，自然也多桥梁。众多桥梁各具特色，各有历史。本次，为大家介绍其中的一座桥——城见桥。

城见桥是架设在市内一级河川抚养川上的预应力混凝土桥梁，于1966年3月建成。桥梁全长78米，车道宽8.4米。车道两侧的人行步道各宽2.3米。

城见桥两侧的河岸是整備完好的步道和公园。鸣门市每年夏天的烟花大会会场就位于大桥南侧的河岸边。城见桥是通往大会观众席和小吃街的重要通道。因此，每逢烟花大会，市民们在大桥两侧的河岸纳凉歇息，大桥上则是人头攒动。

桥头名字牌上镌刻着“城见桥”三个字，它的原版文字是由大塚制药集团的创始人大塚武三郎先生所书。桥名是通过大众征集评选所定，意为“可以看见城堡的桥”。站在桥上，可以望见远处山上的一座城堡，城堡名叫“トリーデなると（Toride Naruto）”。



こちらは「トリーデなると」であり、鳴門市の妙見山の山頂に位置し、昭和40年3月にオープンした城模様の施設です。当時は徳島県出身の考古学者・民俗学者・人類学者の鳥居龍藏先生を顕彰する鳥居記念博物館でした。平成22年に博物館は徳島県立21世紀館に移転されました。

その後、施設は耐震工事等を経て、「トリーデなると」と改名され、平成28年にリニューアルオープンし、鳴門市の防災拠点や市民ギャラリーの会場等として利用されています。

開館日：土・日・祝日

時間：9:00-16:00

注：①年末年始閉館

②市主催企画展等開催時、災害避難時は、上記に関わらず開館

ここは人気の高い花見名所でもあり、花の咲く春になると、人通りが絶えません。

这就是城堡“トリーデなると”。城堡位于鸣门市妙见山山顶，于1965年3月建成并对外开放，曾经是德岛县立鸟居纪念馆，是为纪念德岛出生的著名考古学家・民族学家・人类学家鸟居龙藏先生而建。2010年，鸟居纪念馆搬迁至德岛县立21世纪馆。随后，城堡经过抗震施工等再装修后更名为“トリーデなると”，于2016年再次对外开放。现在，这里是鸣门市重要的避难所和市民展等活动场馆。开馆时间如下：

开馆日：星期六、星期日、法定节日

时间：9:00-16:00

注：①日本元旦假日期间闭馆。

②市民展等活动日或自然灾害避难时，非上述日期亦会开馆。

此处也是颇具人气的赏樱胜地，每到春暖花开时，前来赏樱的客人络绎不绝。



普通そうに見える一本の橋でも、交通の役割を果たすだけでなく、別の施設と繋がったり、街の出来事を記したりする大切な存在だと思います。

皆さん、城見橋のほかにもまだまだ多くの橋がありますので、街を歩き来する時は橋の上に立ち留まり、その橋の物語も探ってみませんか。

可见，看似平凡的一座桥，不仅发挥着重要的交通作用，亦或与其他设施有着重要关联，亦或记录着城市发展中的重要瞬间。

朋友们，除了城见桥，鸣门市内还有其他很多桥梁，穿行于城市之间，让我们驻足桥上，试着探寻桥梁背后的故事吧。

部门：鸣门市观光振兴课

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mail：kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp

编辑： 翟 羽佳